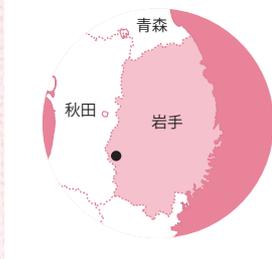


商工会女性部はまちに  
元気と安心をお届けしています。

# はちみつ 通信

料理コンテストなどで  
地元高校生と協働して  
地域の魅力向上に貢献  
西和賀商工会女性部(岩手県)



西和賀町は、岩手県の南西部に位置し、三方を1000m級の山々に囲まれた自然豊かなまちで、年間の累積降雪量は10mを超し、特別豪雪地帯に指定されています。

町内に唯一ある岩手県立西和賀高等学校は、これまでに地域で活躍する人材を輩出する役割を担っており、地域にとって欠かすことのできない存在となっているものの、毎年生徒数の減少が進み、存続の危機に陥っている状況

でした。

この状況を打破して高校の魅力を上・発信しようと、女性部では西高校生と協働で、地元食材を使った新メニューの開発を目指す高校生の料理コンテスト「西高生 地産地消チャレンジ・グランプリ」を開催しています。グランプリメニューは町内飲食店で期間限定として登場させるほか、事業10年目となる年には歴代グランプリメニューを合わせたお弁当をつくって町内イベ



製作したカラフルなマットを寄贈

人口約6万4100人の合志市は、熊本県の北部内陸部に位置します。市の北部は広大な農地が広がる県内有数の穀倉地帯であり、熊本市に隣接した南西部一帯の住宅地・商業地は、新市街地を形成し、熊本市のベッドタウンとして人口は増加傾向にあります。

人口の増加は喜ばしいことですが、一方では、ゴミ問題も深刻化しています。商工会女性部で何かできないかと役員会で話し合ったところ、「古着で足ふきマットをつくったらどうか」という意見が出て、取り組みがスタートした2014年3月以降、毎年実施しています。

できあがったマットは、社会福祉協議会や市内28カ所の保育園に寄贈しました。「ぬくもりを感じますね」といっていただくこともあり、私たちの励みになっています。また、この活動は

古着を活用した  
足ふきマットを毎年製作  
ウクライナ支援も実施  
合志市商工会女性部(熊本県)





社会学習プログラム「魅力発見ラボ」のメンバー



料理コンテスト・事業10年記念お弁当



メニュー開発に取り組む高校生と女性部員

ントで販売するなど、西和賀高校の魅  
力向上に大きく寄与しました。  
また、今年度は、西和賀町の地域プ  
ランド「ユキノチカラ」を運営するユ  
キノチカラプロジェクト協議会と協働  
し、社会学習プログラム「魅力発見ラ

ボ」事業に取り組んでいます。開発し  
た商品のテスト販売や、西和賀の方言  
を使った「ご当地LINEスタンプ」  
の企画・製作に関わるなど、西和賀高  
校の魅力を発信しながら地域の未来を  
担う人材の育成につなげています。



女性部員が集まっ  
てマットづくり

新聞やラジオでも取り上げられ、地元  
の婦人会だけではなく、県内の婦人会  
からつくり方の問い合わせがあり、マ  
ットづくりの輪が広がっていきました。  
今年4月16日には、一日も早いロシ  
アによるウクライナ侵攻の停戦とウク  
ライナ国民を支援するために、募金活  
動の一環として「古布マット」販売を  
行い、全額を日本赤十字社へ寄付しま  
した。  
合志市商工会女性部は、今後も私た  
ちのできることから積極的に活動を続  
けていきます。



ウクライナ支援も  
マットで貢献